

# 四季成性いちご 【すずあかね】の 栽培特性について

ホクサン株式会社  
植物バイオセンター  
TEL:011-370-2104  
E-mail:yukio-yonezu@hokusan-kk.jp



## 【品種特性】

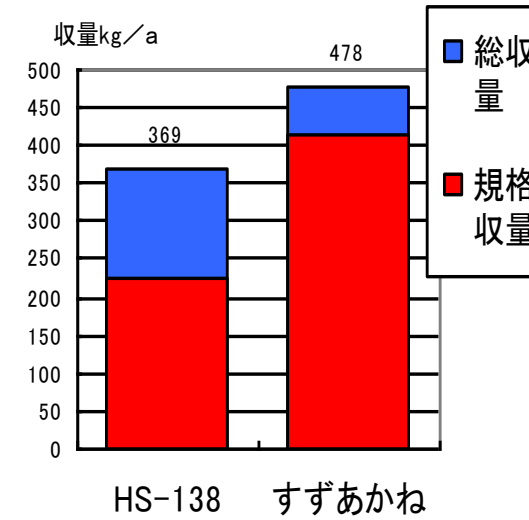
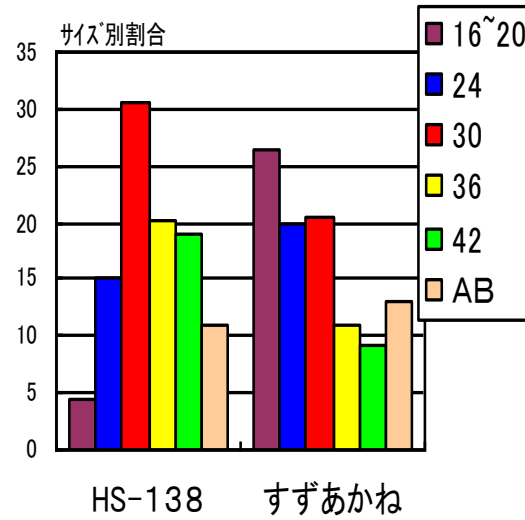
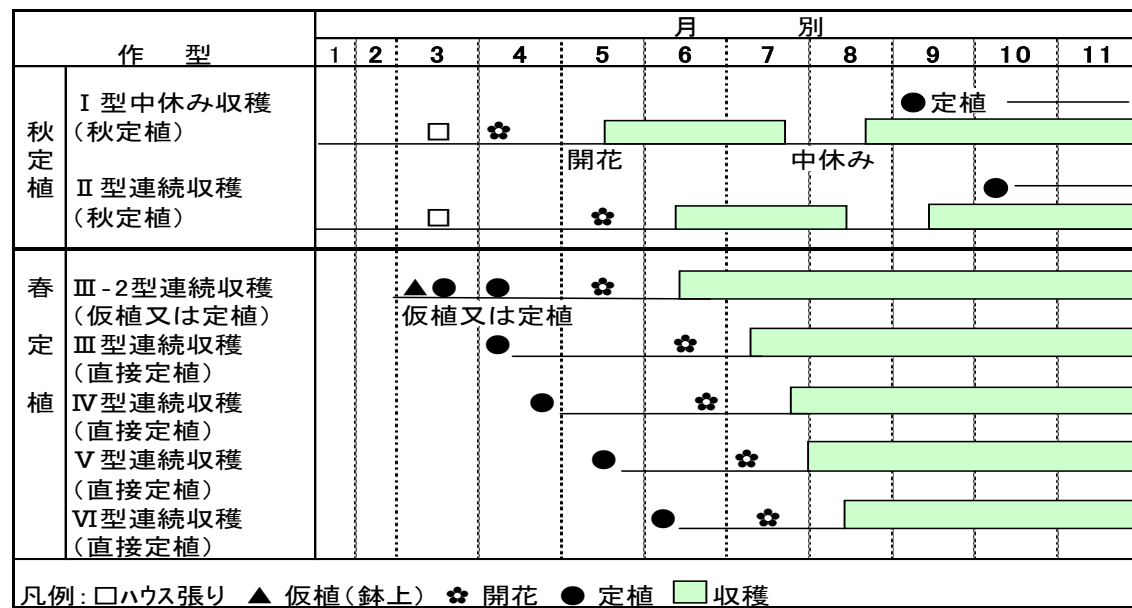
- 1、株の特性
  - ・四季成性品種で夏秋期にも開花、結実します。
  - ・姿は中立性で草丈はやや低い品種に属し、草勢はやや強いです。
  - ・分けつは少なく、葉の展開も遅くかつランナーの発生も少ないので管理作業が非常に少なくなります。
  - ・葉数も少ないので葉かき労力が軽減され防除効率も向上します。
  - ・弱小花房の発生、花房当りの花数は少なく摘除労力も軽減されます。
  - ・株疲れを起こすと芯どまりを起こすことがあります。
  - ・黒斑病に弱いので予防的防除を組み入れてください。
- 2、果実の特性
  - ・果実は大きく、果形は丸みを帯びた球円錐形です。
  - ・果皮、果肉が硬く、日持ち性があること、また収穫、選果がし易く選果機を利用した共同選果に適します。
  - ・果実空洞果は少なく、果色は明るい橙赤色で光沢に優れます。
  - ・糖度は夏秋どりとしては高い部類にあり生食用としての用途も広がります。
- 3、生産性
  - ・果重型品種のため1果重は重く果数は少ないが収穫量は多くなります。
  - ・小果、種子浮き果、先青果、長果が非常に少ないため可販果収量が多くなります。
  - ・真夏に高温日が続くと果実果皮が黄化する欠点も見られますのでハウス内高温日が何日も続くと予想される場合は寒冷紗で覆って下さい。
  - ・茎葉繁茂が少ないので秋遅くに見られるハウス内湿度上昇による腐敗果が少なく良質果が得られます。

## 【栽培特性】

- 1、栽培作型
  - ・栽培作型はⅡ型Ⅰ型まで可能です。本品種の特徴から連続収穫が可能となりますがⅠⅡ型が生産性をあげるためには有利です。
- 2、定植
  - ・腋芽の除去は芯どまりを押さえる意味から行いません。
  - ・分けつが少なくまた葉数も少ないので栽植密度は株間を狭く(20〜30cm)する方が生産性を高めます。
- 3、株養成
  - ・株養成期間は45日〜55日位、(大蕾出現まで) 仮植、又は定植1ヶ月以降大蕾が上がってくるのでこの花房から収穫対象となります。
- 4、花房養成
  - 1番果は極めて大玉になる特性がありますので頂花房の1番果は摘除してください。収穫前半は乱形果、先青果、小果の規格外は摘除しますが、後期収穫においてはすべて放任とします。
- 5、給液管理
  - ・比較的肥料の吸収は旺盛です。
  - ・日射量、気温の上昇に伴い増加します。

詳細につきましては栽培時にお渡し致します弊社作成の「すずあかね」栽培マニュアルを参照願います。

何か御不明な点が御座いましたら御連絡願います。



すずあかねはが当社農場で多くの試験を繰り返して生産者の皆さんに喜んで栽培して頂くことが出来るかと判断し陣をもって送り出す夏秋どり品種です。いまままで栽培されてきたHS-138とは大きく形質が異なりまだまだその特性について試験をしていかなければならないと考えますが、ここではいまままで試験を行い見出された特性とそこから判断される栽培上の留意点をご紹介します。